

チラシを配布するメンバー(右)



震災忘れないで

市民団体が街頭活動
節電やごみ減量呼び掛け

松江

東日本大震災から7年になるのを前に、松江市を拠点に活動する市民環境団体「くにびきエコクラブ」が9日、同市朝日町の松江駅で街頭活動を行い、節電をはじめ、身近な心掛けでできる支援を呼び掛けた。

被災地支援の思いを持ち続けてほしいと毎年行っている。この日は11人が「もっとたいないの気持ちを持ちましょう」「節電にご協力お願いします」と声を掛け、節電やごみの減らし方を記したチラシ1500枚を利用者らに手渡した。

くにびきエコクラブの北垣幸久会長(71)は「『もっとたいない』は世界に通じる言葉。手軽に取り組める点から実践してほしい」と願った。

(古瀬弘治)